

静岡県

土地改良

No.

475

2025.12



水土里ネット静岡

| 静岡県土地改良事業団体連合会 |

目

次

■ 第 47 回 全国土地改良大会 佐賀大会	1
■ 令和 7 年度 換地計画実務研修会	4
■ 令和 7 年度 土地改良区運営基盤強化推進研修	6
■ 国への要請活動—土地改良事業推進協議会	8
■ 水土里ネット静岡 職員現場視察会を開催！	10
特 集 女性の視点を未来に 未来へつなぐ水土里ネットの新たなカタチ 12 関東一都九県水土里ネット女性理事意見交換会	
■ 第 11 回 静岡県 農村の魅力フォトコンテスト 冬の部募集中！	15
■ 行 事 予 定	15
■ 水土里ネット静岡 各種相談窓口のお知らせ	16



表紙写真

第 9 回 静岡県 農村の魅力フォトコンテスト
秋の部「#しずおかむらたび秋 2023」入選作品

あさひなおおりゅうせい

朝比奈大龍勢



「美しく品格のある邑」
Web サイトへ飛びます

撮 影 者 @shin81014_3rd

撮影時期 2023 年 10 月

撮影場所 藤枝市岡部

美しく品格のある邑 殿（との）

2 年に一度、満開のコスモス畑の中で行われる「朝比奈大龍勢」は、静岡県指定無形民俗文化財です。

かつて龍勢（流星）は、駿府を中心とした地域に伝承されていましたが、現在は藤枝市岡部と静岡市清水区草薙の 2 地区でのみ行われています。

朝比奈川流域の 13 の連（チーム）が、伝統的なロケット式花火をそれぞれ手作りし、火薬の配合や曲と呼ばれる仕掛けの巧みさ等を競います。

第47回 全国土地改良大会 佐賀大会



「第47回 全国土地改良大会 佐賀大会」が、令和7年10月15日（水）に開催されました。会場のSAGAアリーナ（佐賀市）には、全国から約4,000人超の土地改良・農業農村整備事業関係者が参集し、日本の農業・農村を下支えする「水土里ネット」の役割を再確認しました。

大会の前段では、土地改良事業功績者表彰が執り行われ、農林水産大臣表彰6名、農林水産省農村振興局長表彰16名、全国土地改良事業団体連合会長表彰44名が栄誉に浴されました。

本会からは、深良大洞川土地改良区の大庭満治理事長が表彰を受けられました。（3ページで紹介）

後段の基調講演では、「次世代へ、希望をつなぐ土地改良」と題し、佐賀県における農業と土地改良の歩みを紹介するとともに、新たな土地改良長期計画

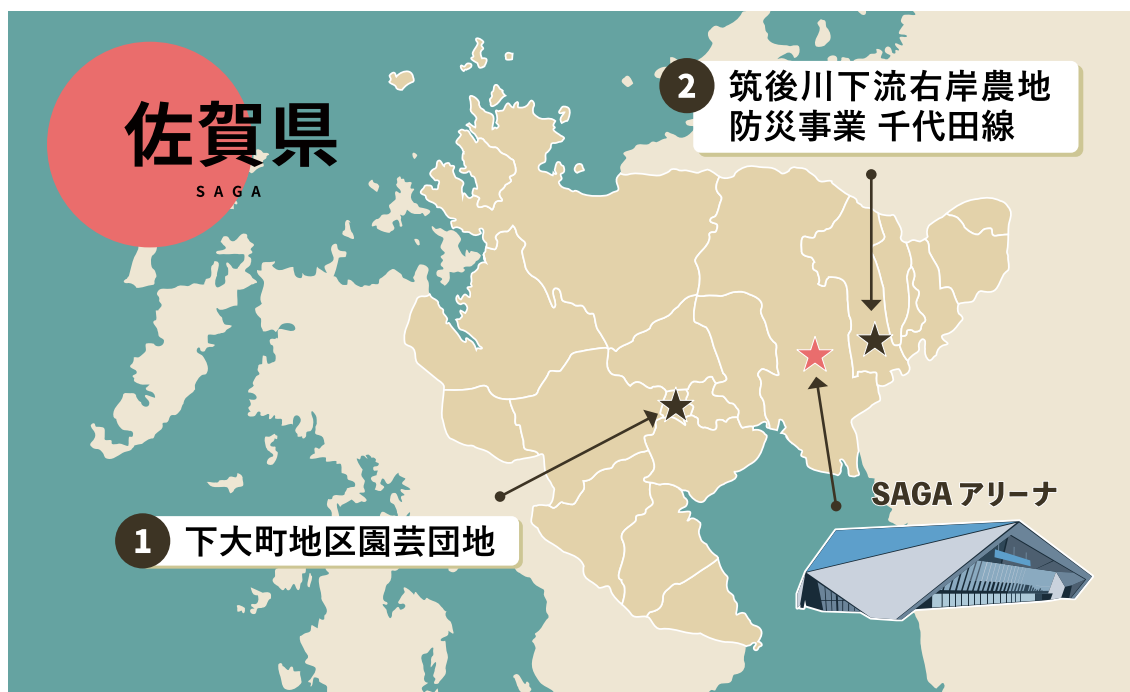
等の土地改良をめぐる動きや更なる推進について、農林水産省農村振興局の青山健次次長から解説がされました。

続いて行われた優良事例紹介では、白石土地改良区の久原英之主事、江口巧汰主事から、「白石地域の農業農村の将来に向けて」と題して、用水不足地帯の特徴や歴史・変遷と、将来に向けての決意を交えた発表がありました。

大会宣言と次期開催県である奈良県への大会旗引継ぎも滞りなく行われ、大会は盛況のうちに幕を閉じました。

事業視察

10月16・17日（木・金）には佐賀県内で事業視察・見学を行いました。



1

担い手農家のニーズに応じた遠泳団地整備
下大町地区園芸団地 | 大町町

暑いハウスの中にも関わらず参加者からは熱い質問が次々と飛び出しました。



基盤整備促進事業「さが園芸 888 推進型」を活用して団地を造成し、国庫事業や県単事業、JA 事業（リース）を活用して園芸施設が設置され、令和3年度から営農が開始されました。

現在は担い手3名が各ハウスでキュウリを生産し、担い手が新規就農者を

育成する好循環が生まれています。

実際に「養液栽培」「土耕栽培」各の軒高の高いハウスに入らせていただき、温湿度・CO2濃度等のデータを数値化しながらの栽培管理、植付けから収穫までの期間、栽培の工夫などを説明いただきました。

2

大規模なクリーク水路整備 筑後川下流右岸農地防災事業 千代田線 | 神崎市



昔から「降れば大水、照れば干ばつ」と言われた佐賀平野は、水田面積に対する雨水を蓄える山地面積の割合が小さいため、農業用水の絶対量が乏しい場所で『クリーク』と呼ばれる水路を用いて水資源を効率よく反復利用しています。

近年の気象変化等でクリークの法面崩壊が進行し、農業施設としての機能が損なわれたり、周辺の農地や道路にも損壊が生じたり、土砂の堆積によりク

リークの貯留機能や排水機能の低下から広域的な湛水被害が発生する危険が高まっていました。

そこで国営農地防災事業で総延長173kmのクリークの法面保護や堆積土砂の除去を行い、広域的な防災を未然に防ぎ、農業生産の維持や農業経営の安定とともに、国土保全を図っていることを説明していただきました。

全国土地改良事業功績者表彰

全国土地改良事業団体連合会会長表彰

深良大洞川土地改良区 大庭満治 理事長

深良大洞川土地改良区の大庭氏。農道が少なく不整形な農地の課題解消のため、ほ場整備事業の立ち上げに尽力されました。事業推進委員会の設立や、関係地権者・自治体等との困難な交渉・調整を粘り強く推進。令和3年からの理事長就任後は、組合員に寄り添い事業を導く姿に、地域から高い信頼が寄せられています。



令和7年度 換地計画実務研修会



専門的かつ複雑な換地業務を担う職員の知識向上を図るため、実務研修会を開催。県・市町・土地改良区等の職員が参加し、熱心に耳を傾けました。

土地改良事業の完了後、権利者の皆さんへ公平に農地を再配分する「換地」は、事業の根幹をなす極めて重要な業務です。

この専門的かつ複雑な業務を担う職員の知識向上を図るため、今年も「令和7年度 換地計画実務研修会」を開催しました。

研修は、令和7年8月26日（火）・27日（水）、9月2日（火）の3日間の日程で、静岡県男女共同参画センター「あざれあ」にて実施。講師による法令の解釈や実務上の留意点に関する専門的な解説に、参加者は皆、終始真剣な面持ちで耳を傾けていました。



26日
(火)

- | | |
|---------------------------|---|
| ① 土地改良法の概要
(法手続き関係) | 静岡県 経済産業部 農地局
農地整備課 市川 元嗣 氏 |
| ② 土地改良事業における
換地税制等について | 静岡税務署 資産課税部門
審理専門官 安達 和正 氏
浜松西税務署 資産課税部門
審理専門官 森下 智美 氏 |
| ③ 換地理論 | 関東農政局 土地改良管理課
土地改良指導官 高島 久美 氏 |

27日
(水)

- | | |
|-------------------------------------|---|
| ① 基礎調査
(経営体育成促進換地等調整事業) | 県土連 会員支援課 鈴木 |
| ② 農地制度について | 静岡県 経済産業部 農地局
農地調整課 福田 吉宏 氏 |
| ③ 国有地地区編入手続きについて
(二線引畦畔及び脱落地の処理) | 東海財務局 静岡財務事務所
管財課 主任国有財産管理官
佐藤 訓史 氏 |
| ④ 相続登記の義務化 | 静岡地方法務局 不動産登記部門
統括登記官 青木 典一 氏 |
| ⑤ 土地評価と換地清算 | 県土連 事業支援課 森 |

9月2日
(火)

- | | |
|-------------------------|--------------|
| ① 換地制度を活用した
非農用地換地手法 | 県土連 事業支援課 石原 |
| ② 換地選定の要領と実務 | 県土連 事業支援課 登澤 |
| ③ 換地計画書作成等について | 県土連 会員支援課 磯部 |
| ④ 一時利用地と換地処分
・ 処分登記 | 県土連 会員支援課 鈴木 |

令和7年度 土地改良区運営基盤強化推進研修



土地改良区の持続可能な組織運営を目指し、財務から組織体制まで学ぶ運営基盤強化推進研修が、全国水土里ネット主催で開かれました。

令和7年8月29日（金）、静岡産業経済会館（静岡市）において、全国水土里ネット主催による「令和7年度 土地改良区運営基盤強化推進研修」が開催されました。この研修会は、土地改良区の「総合的な運営基盤強化」を目的として企画されたものです。

当日は、農業基盤整備資金や会計経理といった財務・経営改善に関する実

務的な講義に加え、組織体制の強化（男女共同参画の推進）や、地域一体での活動の核となる「水土里ビジョン」など、運営全体に関わる幅広いテーマが取り上げられました。

参加者は、土地改良区が直面する現状と課題について認識を深め、その役割を再確認する機会となりました。

01

農業基盤整備資金の借入に関する諸手続きについて

日本政策金融公庫 静岡支店 半田 芽衣 氏
静岡県農業ビジネス課 丸山 美咲 主任

農業基盤整備資金の借入に関するスケジュールを共有し、必要書類等の紹介とチェック事項が説明された。



02

土地改良区の会計経理について

全国水土里ネット支援部
勝海 匠 主事

経理初心者向け（複式簿記の年間処理の流れ・基本事項等）の説明に加えて、土地改良施設の譲与・指定正味財産の振替などの、中・上級者向けの解説がされた。

03

土地改良区の現状と課題について

全国水土里ネット支援部
前田 仁 上席参与

全国の土地改良区の現状報告がされた後、未収賦課金・所有者不明・統合整備・施設の老朽化などの諸課題と対策について、事例を示しながら解説された。

04

土地改良区の業務及び運営について

全国水土里ネット支援部
前田 仁 上席参与

土地改良区の業務、理事・監事の職務など、土地改良区役員が業務に従事するうえで参考となる基礎知識についての説明がされた。

05

経営診断について （収支分析、施設更新積立）

全国水土里ネット支援部
金内 琴美 次長

水土里ネット静岡が令和7年度に実施する経営診断に対して、経営改善に向けた取組みの解説がされた。

- 収支分析 …………… 土地改良区が目指すべき収支構造、経常賦課金水準の検証など
- 施設更新積立 ……… 施設更新計画表からの土地改良区負担見込み額の算定など

06 & 07

地域関係者との連携について （水土里ビジョン）

全国水土里ネット支援部
前田 仁 上席参与

土地改良団体における 男女共同参画について

全国水土里ネット支援部
金内 琴美 次長

「水土里ビジョン」と「土地改良区の女性理事登用」に関する情報提供がされた。



勝海 主事



前田 上席参与



金内 次長

国への要請活動－土地改良事業推進協議会

地域の切実な声を、国の予算編成へ 県内の農業と農村の未来を守るため、各土地改良事業推進協議会が国への要請活動を行いました。

地域の農業農村整備を推進する役割を担う「土地改良事業推進協議会」。

この度、県内の各協議会と関係団体が、農業の生産基盤の強化と保全のために、農林水産省、財務省、国会議員に対し要請活動を行いました。

要請書を手渡すとともに、各地域の現状と課題、取組みの成果を報告し、令和8年度の予算確保と制度の充実を求めました。

※ 役職名等は要請活動実施時のものです。

9月29日(月)

西遠土地改良事業推進協議会



農林水産省 笹川副大臣（左から3番目）



進藤全国水土里ネット会長会議顧問（中央）

同席 城内 実 経済安全保障担当大臣

9月30日(火)

中部土地改良事業推進協議会 & 静岡市土地改良連絡協議会



財務省 主計局 宮下主計官（右から5番目）

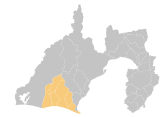


進藤全国水土里ネット会長会議顧問（右から3番目）

同席 深澤 陽一 衆議院議員、牧野 京夫 参議院議員、望月 香世子 県議会議員

10月3日(金)

中遠土地改良事業推進協議会



農林水産省 渡邊事務次官（左から3番目）

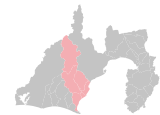


財務省 主計局 中山次長（左から2番目）

同席 牧野 京夫 参議院議員

10月8日(水)

志太榛原土地改良事業推進協議会



農林水産省 滝波副大臣（右から3番目）

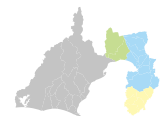


財務省 主計局 菅野総務課長（中央）

同席 井林 辰憲 衆議院議員、牧野 京夫 参議院議員、若林 洋平 参議院議員

10月8日(水)

東部・伊豆・富士土地改良事業推進協議会



農林水産省 農村振興局 松本局長（右から4番目）
青山次長（左から2番目）



農林水産省 農村振興局 石川整備部長（中央）

同席 勝俣 孝明 衆議院議員、細野 豪志 衆議院議員、牧野 京夫 参議院議員
若林 洋平 参議院議員

水土里ネット静岡 職員現場視察会を開催！



「自分の仕事が、どのように現場に繋がっているのか」――。

その繋がりを実感する機会として、水土里ネット静岡は9月8日（月）に若手・中堅職員を対象とした現地視察会を静岡市内で開催しました。

普段は事務仕事を中心の職員も多く参加し、現場の生の声に触れました。

現場で感じる「土地改良事業」 自身の仕事の先を視る

今回の視察会は、設計業務に携わる技術職員だけでなく、総務や経理などを担当する職員も一緒に参加し、組織全体で土地改良事業への理解を深めることを目的に行われました。

当日は、静岡市街と駿河湾が一望できる現場で澄んだ青空のもと、絶好の視察日和となりました。



プロから学ぶ！活発な質疑応答

現地では、実際に工事が進む様子を見学しながら、中部農林事務所の笠井技監と落合主査、そして施工を担当する鈴与建設の小木曾様から、事業の概要や工事のポイントについて詳しく解説していただきました。

参加者からは専門的な質問から素朴な疑問まで次々と手が挙がり、普段なかなか聞けない現場の生の声に、皆、真剣な表情でメモを取っていました。

部署の垣根を越えて、一体感を深める機会に

今回は、普段は図面や書類作成が中心の職員や、現場に直接関わる機会の少ない職員も多く参加しました。参加した職員からは、「自分の仕事が、こうして現場に繋がっていると実感できた」「事業の全体像をイメージすることができた」といった声が聞かれました。

土地改良事業は、多くの専門家や職員の連携があってこそ成り立つもの。今回の視察は、部署の垣根を越えて知識を共有し、組織としての一体感を高める機会となりました。



視察地区 について

県営経営体育成樹園地再編整備事業（機構関連型） 東豊田池田地区 | 静岡市駿河区



- 総事業費 : 862,000 千円
- 工 期 : R2 年～ R10 年
- 受益面積 : 12.2ha
- 工 種 : 区画整理工

—— 事業効果 ——

- 1** 生産性の向上
農地の区画拡大により機械化が促進され農作業効率が向上。
- 2** 農地の集積
農地の区画拡大に伴い、農地集積が促進され、農業の高付加価値化が実現。

有度山の西麓に位置する東豊田地区は、傾斜地で茶の栽培が行われてきたが、不整形、小区画のほ場条件に加え、茶価の低迷や後継者不足などにより耕作放棄地が増加していた。

こうした状況のなか、池田地区の部農会から基盤整備の要望が出され、営農者、関係機関と調整し、中間管理機構を活用した区画整理を実施することになった。

今回の視察で得た貴重な学びを今後の業務に活かし静岡の農業の未来に貢献できるよう、職員一同より一層努力してまいります！ご協力いただいた皆様、本当にありがとうございました。

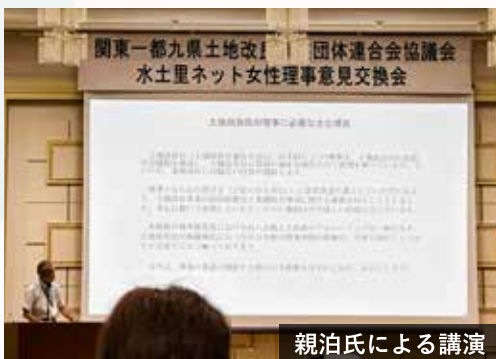


女性の視点を未来に

未来へつなぐ水土里ネットの新たなカタチ

関東一都九県水土里ネット女性理事意見交換会

女性の視点を、明日の土地改良区運営に活かすために。
長野県に関東ブロックで活躍する女性理事が一堂に会し、女性理事登用の課題と推進へのメッセージを率直に語り合いました。



親泊氏による講演

令和7年8月21日・22日（木・金）の両日、長野県で「関東一都九県水土里ネット女性理事意見交換会」が開催され、関東ブロックから女性理事と水土里ネット職員78名が集いました。

初日には、全国水土里ネット土地改良研究所の親泊安次氏が登壇し、土地改良事業の基礎から近年の情勢まで、専門的な知見を深める講演が行われました。



大管理事(写真右)

続く意見交換会では、関東一都九県の女性理事が一堂に会し、現場が抱える課題や未来への展望について活発な議論が交わされました。

2日目には、長野県飯縄町で事業視察が行われ、見識を深めました。



ここからは多くの理事から寄せられたご意見と、男女共同参画をさらに推進するためのアイデアをご紹介します。



事前に投げかけられていた8つの問い

1. 普段どのような仕事をしているのか。
2. どのような経過で土地改良区の理事になられたのか。
3. 理事としてどのような仕事をしているのか。
4. 理事として苦労したこと、困ったことについて。
5. 理事として楽しかったこと、やりがいを感じたことについて。
6. 女性が土地改良区の理事になることについてどのように思うか。
7. 女性理事の登用にあたり土地改良区が取り組むべきことはあるか。
8. これから女性理事に伝えたいことはあるか。

1 多かった意見は？ ➡ 就任へのハードルと男性中心の組織文化

今回の意見交換会で特に多く聞かれたのは、**女性が理事に就任する際のハードルの高さ**に関する声でした。



- 「そもそも土地改良区が何をしているか分からない」
- 「理事の仕事内容がイメージできない」
- 「会議で専門用語が多くて気後れしてしまう」

といった不安が、就任をためらわせる要因となっているようです。

また、「会議に出席すると自分以外は全員男性で、重要な決定権も男性が握っている」「勇気を出して意見を言っても、なかなか聞いてもらえないことがある」といった、根強い男性中心の組織文化への戸惑いの声も挙がりました。

土地改良区の活動内容や理事の役割について、**より丁寧な情報発信が必要**であることが浮き彫りになりました。

では、どうすれば女性理事が増え、その力を存分に発揮できるのでしょうか？意見交換会では **3つの重要な視点** が示されました。



2 女性理事の登用推進に必要なことは？



1 積極的な情報発信と理解促進

「土地改良区の活動を広くアピールすることが、就任への心理的なハードルを下げる第一歩」という意見で一致しました。

水路の維持管理といった従来の役割だけでなく、子どもたちとの農業体験や小水力発電といった、地域の未来や環境につながる活動を積極的に伝えることが、新たな担い手を惹きつける鍵となりそうです。

2 安心して参加できる環境づくり

女性が一人で孤立することなく、安心して意見を言える環境づくりも不可欠です。具体的には、



- 性別や経験を問わず、誰でも参加できる勉強会や研修会の開催
- 土地の所有に関わらず就任できる「員外理事制度」の活用
- 複数の女性理事を登用した、相談しやすい体制の構築

といった、組織としての具体的な取り組みが求められています。

3 組織全体の意識改革

「“女性だから”という性別の役割を求めるのではなく、“あなたという個人に何を期待しているか”を伝えるべき」という意見は、多くの共感を呼びました。

一人ひとりの経験や個性を尊重し、「女性理事がいることが当たり前」という意識を組織全体で共有していくことが、真の男女共同参画への道を開いていきます。

今回の意見交換会は、女性の参加が土地改良団体に新しい風を吹き込む大きな可能性を秘めていることを、改めて示してくれました。

男女共同参画で生まれる多様な視点こそが、地域の農業や環境を豊かにする力となります。様々な声が響き合うことで、水土里ネットはさらに力強く未来へと歩みを進めていけるのではないのでしょうか。

第11回 静岡県

農村の魅力 フォトコンテスト

#しずおかむらたび冬2025

冬2025
テーマ 誰かに見せたい 農村の冬景色



ふじのくに
美しく品格のある邑
Beautiful and Gracious Villages in "FUJINOKUNI"

応募
期間

20
25

12.16

火曜

»»

20
26

2.15

日曜

行事予定

日付	行事内容	場所
1月30日（金）	市町・土地改良区等代表者会議	静岡県男女共同参画センター 「あざれあ」
2月24日（火）	第2回 理事会	静岡市産学交流センター ペガサート
3月23日（月）	第69回 通常総会	ホテルグランヒルズ静岡
3月25日（水）	第68回 全国水土里ネット通常総会 第67回 全国土地改良功労者等表彰式	砂防会館 シェーンバッハ・サボー（東京都）



お困りごとお聞かせください



水土里ネット静岡 各種相談窓口

水土里ネット静岡では、会員のみなさんの困りごとを質問・相談できる窓口を設けています。
どんな内容でもお気軽にご相談ください。

01 土地改良法律相談窓口

土地所有者の所在不明や、相続人の不明など、土地改良区受益地内やほ場整備事業内における「財産管理」に関する問題や、近年増加傾向にある「賦課金の滞納処分」などに関するご相談を承ります。
内容に応じ、本会の顧問弁護士に相談を仲介いたします。



02 会計相談窓口

土地改良法の改正により令和4年度から貸借対照表の作成が義務化されました。専門家である税理士および会計指導員による「会計業務」などに関するご相談を承ります。

03 その他

- 土地改良区の賦課金について
- 定款・規約等について
- 土地改良区運営について
- 新規事業および事業実施について
- 土地改良施設の改修や補修について
- 過去の土地改良事業について

問い合わせ

水土里ネット静岡 会員支援課

TEL : 054-255-5151 FAX : 054-221-3581 E-mail : kaiin@sizdoren.jp

04 静岡県ため池サポートセンター

ため池に関するご相談は、
静岡県農地局農地保全課へ
お問い合わせください。

受付
時間

- ① 09:00 から 12:00
- ② 13:00 から 16:00

▶ 月～金（祝日・休日・年末年始除く）

事務局

静岡県農地局農地保全課

TEL : 054-221-2714 FAX : 054-221-2809
E-mail : nouchihozen@pref.shizuoka.lg.jp

受託

水土里ネット静岡 会員支援課

TEL : 054-255-5151 FAX : 054-221-3581
E-mail : kaiin@sizdoren.jp

05 公共工事発注者支援

土木技術者の不足、「公共工事品確法」による発注事務の適切な実施、発注者責務の明確化等にお悩みの皆さまを、技術的側面から支援します。

業務区分	業 務 内 容
設計・積算補助	<ul style="list-style-type: none"> ■ 設計図書（仕様書、図面の軽微な修正等）の作成 ■ 積算書の作成（積算、積算参考資料）
技術審査補助	<ul style="list-style-type: none"> ■ 入札・契約方法の選定に関する助言 ■ 技術資料の審査業務（総合評価方式等）に関する助言等
監督補助	<ul style="list-style-type: none"> ■ 工事の監督 ■ 工事の段階確認、施工体制の点検（発注者のチェックシートによる）
検査補助	<ul style="list-style-type: none"> ■ 中間検査、出来形検査、一部完成検査、完成検査 ■ 工事及び委託業務の成績評定

▲ 農道・用排水路・ため池の整備工事等を想定しています。



水土里ネット静岡は
農業農村整備事業部門 における
県内唯一の 公共工事発注者支援機関※ です。

※ 令和3年3月「関東協議会管内農業農村整備事業発注者支援機関」の厳正な評価の下、発注関係事務を適切かつ公正な立場で継続して円滑に行うことができる者として認定されました。

問い合わせ

水土里ネット静岡 | 静岡県土地改良事業団体連合会

- 会員支援課（前島） TEL：054-255-5151 E-mail：kaiin@sizdoren.jp
- 東部事業所（前田、植梠） TEL：055-920-2269 E-mail：toubu@sizdoren.jp
- 中部事業所（山崎） TEL：054-286-9273 E-mail：shisetsu@sizdoren.jp
- 西部事業所（山下） TEL：0538-37-2316 E-mail：seibu@sizdoren.jp

本年も当会の事業運営にご協力をいただき
誠にありがとうございました
水土里ネット静岡職員一同
心より御礼申し上げます
来年もより一層のご支援を賜りますよう
お願い申し上げます



水土里ネット静岡（静岡県土地改良事業団体連合会）

■ 本 部（事務局、総務経理課、会員支援課、事業支援課）

〒 420-8601 静岡市葵区追手町 9 番 6 号
TEL : (054) 255-5151 / FAX : (054) 255-3581
E-mail : 総務経理課 soumu@sizdoren.jp
会員支援課 kaiin@sizdoren.jp
事業支援課（事業・水土里） jigyo@sizdoren.jp
（換 地） kanchi@sizdoren.jp

■ 東部事業所

〒 410-0055 沼津市高島本町 1-3
TEL : (055) 920-2269 / FAX : (055) 920-2192
E-mail : toubu@sizdoren.jp

■ 中部事業所

〒 422-8031 静岡市駿河区有明町 2-20
TEL : (054) 286-9273 / FAX : (054) 286-9274
E-mail : shisetsu@sizdoren.jp

■ 西部事業所

〒 438-0086 磐田市見付 3599-4
TEL : (0538) 37-2316 / FAX : (0538) 37-2403
E-mail : seibu@sizdoren.jp